

補助事業番号 27-1-045  
補助事業名 平成27年度 国際交流の推進活動 補助事業  
補助事業者名 (N) リトル・クリエイターズ

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

- ① 児童福祉施設の子どもたちを対象とした音楽ワークショップの開催。参加者は、「チャイルド・エイド・アジア2016」に出演。(12月)
- ② 出演者オーディションの開催(6月14日)。合格者は「チャイルド・エイド・アジア2016」に出演。また、さらに選抜メンバーは、アジア各国で開催される「Child Aid Asia」に出演。
- ③ 児童福祉施設等における美術ワークショップの開催。(6月～12月) 完成した作品を「チャイルド・エイド・アジア2016」で使用。
- ④ 前記(1)～(3)の日本の子どもたち、アジア各国の子どもたちによるコンサート(1月6日)。
- ⑤ 5)「チャイルド・エイド・アジア2016」に出演した日本のこどもたちから選抜メンバーを平成28年度以降にアジア各国で開催される「Child Aid Asia」関連イベントに派遣。

### (2) 実施内容

<http://www.childaidasia.com> (URL)

#### 1) 出演者オーディション(6/14)

会場：東京芸術劇場 リハーサル室／スタジオフォルテ

書類選考に通過した16組が実演して審査した結果、10組の出演者を選考した。





## 2) 聖園子供の家ワークショップ(6/21、7/19、8/9、9/20、11/15、12/20、1/6)

①牛乳パックでロープウェイを創る ②花をテーマにシンガポールの子どもたちへの絵手紙を作る ③オリジナルのうちわを作る ④1日の出来事をテーマにダンボールで版画を作る ⑤シンガポールの子どもたちに送る絵手紙を作る ⑥たこを作る 等、いろいろな手法で美術ワークショップを開催。今期は、シンガポールの子どもたちとの交流、コンサート当日に会場に作品を展示することを意識して、作品創りを行った。⑤と⑥の作品をシンガポールの子どもたちと交換、⑤は当日配布したパンフレットに掲載した他、ポストカードを作成し、コンサート当日、寄付して下さった方に御礼として配布した。『チャイルド・エイド・アジア』出演経験者もボランティアで参加、子供たちの作品作りを手伝ってくれた。本事業が回を重ねることによって、参加した子供たちに「人の役に立ちたい」という気持ちが芽生え、心強い支援者に成長している。



### 3) 「ChildAid Asia@KL」(2015年8月16日・17日 於:マレーシア・クアラルンプール)

「チャイルド・エイド・アジア」出演経験者より、北村明日人君(ピアノ・19才)、和田明佐美さん(バイオリン・16才)、吾妻真優さん(ボーカル・11才)が招聘され、鈴木雄司君(津軽三味線・19才)、中島麗さん(尺八・19才)がボランティアで参加した。

リハーサルと本番を通じて、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピンの若いアーティストたちと交流し、一緒に舞台を創り上げた。



### 4) 石神井学園ワークショップ (12/12、19)

「チャイルド・エイド・アジア2016」には、石神井学園の子ども16名がテーマ曲等3曲の合唱に参加した。今年は、英語の歌「Home」に挑戦、小学生には難しいと懸念したが、繰り返し練習し、全員大きな声で歌うことができた。



### 5) リハーサル(1/4・5)

『チャイルド・エイド・アジア 2016』では、各国の出演者たちが音楽を通じて交流を深められるよう、ソロではなく、異なるジャンルの出演者たちがコラボレーションする曲で構成した。2日間という短い時間だったが、お互いに刺激を与え合う、密度の濃いリハーサルとなった。



#### 6) 『チャイルド・エイド・アジア 2016』 (1/6)

1月6日(水)、秋篠宮紀子妃殿下、シンガポール大使夫妻にご臨席いただき、サントリーホール大ホールにおいて『チャイルド・エイド・アジア2016』を開催した。日本、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、タイから約120名の子どもたちが競演、言葉や国や生活環境の違いを超えて心を通わせ、素晴らしい演奏を披露した。児童養護施設・東京都石神井学園から16名が合唱で参加、うち2名はシンガポールのLittle Arts AcademyのInsyirahとSyahirahとともに司会を務めた。観客からは、「どの演奏も素晴らしく感動しました。アジアの、世界の、子供達の、明るく力強い未来を感じるコンサートでした！！」など、演奏の質の高さ、出演者たちのエネルギーに高い評価をいただいた。

これまでに出演したOB・OGもバックステージでスタッフとして活躍、まさに、子どもたちによる、子どもたちのためのチャリティ・コンサートとの形が出来上がりつつあることを実感している。



## 7) 生花ワークショップ (1/6)

コンサート当日、聖園子供の家の子どもたち8名がサントリーホールを訪れ、シンガポールのリトル・アーツ・アカデミーの子どもたちと一緒に生花ワークショップに参加した。花は(財)国際こども花基金にご提供いただき、講師の指導のもと、子どもたちは自由な発想で初めての生花に挑戦した。



## 8) 東京都石神井学園交流会 (1/7)

東京都石神井学園の子供たちと出演者の交流会を開催。海外の出演者にとっては初体験の大なわとびやコマ、竹とんぼなど、日本の遊びを一緒に楽しんだり、シンガポールの伝統染物バティックを体験。最後には自然と輪ができて、ボーカリストたちが歌を披露したり、全員でテーマ曲を合唱したり、子供たちは、言葉や文化の違いを超えて、友情を築いていました。



## 2 予想される事業実施効果

### 1) アジアの子どもたちの交流とネットワーク形成

今回は、新たにタイから出演者を迎えることができた。2011年にシンガポールと日本のジョイント・コンサートとして開始した事業だが、回を重ねるごとに、マレーシア、インドネシア、フィリピンと参加国を増やし、OB・OGも含め、子どもたちのASEANネットワークに成長しつつある。

### 2) 社会的ハンディのある子どもの活躍

『チャイルド・エイド・アジア2016』には、東京都石神井学園の子どもたちが合唱で、聖園子供の子供の家の子供たちが美術作品で参加した。

#### ■ 司会と合唱参加(東京都石神井学園)

今年も東京都石神井学園のみくとなつみの2人が司会を務めた。責任感を持って練習し、堂々と舞台に立つ姿に彼らを信頼して「役割」を任せることの大切さを実感する。合唱のみ参加した14名も英語の歌に挑戦、練習の成果を発揮できたことが自信につながったようである。

#### ■ 美術作品紹介と生花ワークショップ(聖園子供の家)

2013度から毎月開催している児童養護施設 聖園子供の子供の家の美術ワークショップで子どもたちが作った作品を舞台上と当日配布プログラムで紹介、一部をコンサート当日にロビーに展示した。また、今年も、シンガポールの子供たちとの交流に力を入れ、絵手紙と凧を交換、「生花ワークショップ」で一緒に生花を制作した。

#### ■コンサート鑑賞

聖園子供の家や双葉園の子どもたち、そして石神井学園の出演経験者や関係者がコンサートを観覧、惜しめない拍手を仲間たちに送ってくれた。

### 3) 若い才能の発掘

オーディション参加者のジャンルが広がり、海外からの出演者を含め、琴、三味線、和太鼓、ピアノ、フルート、クラリネット、バイオリン、ギター、チェロ、マリimba、合唱、ボーカル、古箏と非常に多彩な演奏者が集まった。出演者同士の交流の質を高めるため、全て複数の出演者が参加するように工夫するとともに、できる限り知名度の高い曲を選曲して構成した。

日本の出演者から3～4名がシンガポール、マレーシア、インドネシアの「ChildAid Asia」に出演する予定である。去年はCherry Blossom Charity Ball、今年4/6には、Asia-Pacific Ladies Friendship Society (ALFS) Charity Bazaar 2016にミニコンサートを行う等、OB・OGが演奏する機会が増加している。

### 4) 支援の輪の広がり (OB・OGの活躍)

何よりも誇らしくまた有り難い支援は、過去に『チャイルド・エイド・アジア』に出演したOB・OGが積極的にバックステージの手伝いをしてくれたことである。お弁当配りやゴミ処理、リハーサルでの演奏アドバイスや本番での譜めくり、コンサート会場での寄付金集めなど、大活躍だった。コンサート終了後のレセプションでは、OB・OGがミニコンサートを開催、出演者と来場者の喝采を浴びた。また、2014年よりOB・OGが自発的にチャリティ・コンサート『輝く明日へ』を企画、その収益を寄付してくれている。コンサートを続けることにより、子ども同士で助け合えるコミュニティーが育まれていることを実感している。

## 3 補助事業に係る成果物

### (1) 補助事業により作成したもの

<http://www.childaidasia.com> (URL)

<https://www.facebook.com/childaidasia> (URL)

10/16	チラシ①	3,000部
11/22	チラシ②	3,500部
12/24	プログラム	1,500部
12/27	アンケート	1,500部

(2)(1) 以外で当事業において作成したもの

11/21	チラシ③	10,000部
12/27	ポストカード	1,000部
5/6	『チャイルド・エイド・アジア2016』開催報告書 (PDF)	

#### 4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 特定非営利活動法人リトル・クリエイターズ

住 所： 〒107-0062

東京都港区南青山2-2-15 ウィン青山1403

代 表 者： 理事長 長谷川仰子 (ハセガワキョウコ)

担 当 部 署：

担 当 者 名： 理事 山下真智子 (ヤマシタマチコ)

電 話 番 号： 03-6869-7282

F A X： 03-6893-3931

E - m a i l： machiko@littlecreators.jp

U R L： <http://www.littlecreators.jp>

<http://www.childdaidasia.com>